

平和祈念事業アドバイザーボード（第9回）議事要旨

1 日 時：平成24年11月9日（金）14：00～16：00

2 場 所：農林水産省 三番町共用会議所 A会議室

3 出席者：（委員）

◎ 亀井 昭宏（早稲田大学名誉教授）

○ 杉浦 力（財団法人能率増進研究開発センター理事長）

黒沢 文貴（東京女子大学現代教養学部国際社会学科国際関係専攻教授）

田久保忠衛（杏林大学名誉教授）

堀川 末子（弁護士）

[敬称略、◎は座長、○は座長代理]

（総務省）

田家 修 官房審議官

加瀬 徳幸 特別基金事業推進室長

佐藤 紀明 官房参事官

4 議事次第

（1）「平成24年度業務実績（見込み）報告」についての説明

（2）「中期事業計画の提案」についての説明

5 議事要旨

（1）「平成24年度業務実績（見込み）報告」についての説明

24年度事業者から「平成24年度業務実績（見込み）報告」について説明が行われた。

（2）「平成24年度平和祈念事業委託業務のポイント」についての説明

24年度事業者から「中期事業計画の提案」について説明後、意見交換が行われた。

委員の主な発言等は以下のとおり。

○ 地方巡回展について、パネル展示が中心であり、若い人にとっては、映像端末等を使用して、触れる展示を行うなど、別のツールを使ったアプローチが必要ではないか。迫力やダイナミックさが増すように感じる。

- 地方巡回展について、映像や音声、見せ方などを含めて、パッケージの中身を年々充実させていかないといけないのではないか。
- インターネットについて、今後の重要性がますます高くなってきている。資料館のホームページのヒット数は大変多いようなので、来館促進における具体的な効果を調べてもよいのではないか。
- 資料館のホームページについて、ターゲットになりやすいテーマということもあり、改ざん等のサイバー攻撃に対する防御態勢をきちんと構築してもらいたい。
- 広報物について、個人情報扱う場合は、取り扱い及び管理をさらに徹底してもらいたい。
- 広報物について、(総務省委託)という文字は、広報物の内容によって使い分けてもよいのではないか。その方が都合のよい時もある。
- 夏休みのイベントについて、工夫されていて非常によいが、子どもだけを対象とするのではなく、色々と考えて、対象別に企画したらもっとよくなるのではないか。
- 語り部について、養成も必要だが、本人が語る映像は非常に迫力があるため、映像で残すことが必要。何らかの形で公開してもらいたい。